軒天の補修

最近、家の周りを掃除していたら、何かしら板のような物が落ちている・・・と
思われたことはないですか？
心当たりのある方は、軒天やバルコニー裏を見上げてみて下さい。
私の知人にもおりました。最近、板の欠片みたいなのが落ちているのよね・・・と。
そして次には「板が落ちてきた～」と。
雨漏りによって軒天材が劣化して剥がれ落ちたということです。

当たり前ですが、水は低い方向に流れます。流れた水は、軒先部分に集中します。
昨今、局所豪雨により排水の許容がオーバーすることも多く見受けられます。
軒先の雨漏りは、軒天に雨染みとして残り外観を損なうだけでなく、軒天材や下地材も
劣化させてしまいます。
放置し続けると、軒天から外壁内部へ水がまわり、内壁にまで染込んでくる恐れがあります。
そうなると、大規模修繕が必要となります。

バルコニー裏の天井も同様です。
劣化の原因は、バルコニーのドレンもしくはドレン配管からの水漏れが大半です。

定期的に見上げてみて雨染みが広がっていないか確認し、雨漏りの原因を突き止め
天井裏の換気を良くし、軒天の表面を塗装で保護することが重要です。
梅雨に入る前に、ドレン周りや溝の掃除をおすすめします。

軒天の役割

そもそも、軒天は何のためにあるのか？

- 美観・・・下地材や構造材を隠し意匠的に綺麗に整える
- 火災時の延焼を防ぐ・・・軒天があることにより、延焼拡大を防ぐ
- 屋根裏の換気・・・屋根裏の換気をよくし、内部結露を防止する

などがあげられます。

軒天の補修

- 重ね張り・・・既存の軒天材が機能として使用できる場合は、補強の上
  新しい軒天材ボードを重ね張りします。

- 張替え・・・既存の軒天がひどく劣化している場合は、既存の軒天を撤去して
  張替えします。

- 塗装・・・軒天が比較的良好な場合、塗装によるメンテナンスを行います。
  色は、グレーがかった白やクリーム色が無難でしょう。

軒天材について

軒天に使われる素材として

- カラーベニヤ（ベニヤ板）
- 金属板（スパンドレル）
- ケイカル板（けい酸カルシウム板）

などがあります。中でも③ケイカル板は最も主流のある軒天材です。

ケイカル板は耐久性や耐火性、耐水性に優れています。
防火性能の基準をクリアした製品（軒裏30分準耐火構造適合品）が多いため
法律による制限を気にすることなく使用できます。
デザインや色も豊富で、和風住宅に適した木目調のものもあります。
私個人としておすすめするのは、通気性を確保した有孔ボードです。

有効ボードとは、ケイカル板の表面に穴のたくさんあるボードで
屋根裏に溜まった熱気や湿気を外部に排出するために作られています。

有孔ボードには、板の一部にだけ穴が空いているタイプと全面に穴が空いているタイプが
あります。

- 防火有孔板・・・一部に穴が空いているタイプ
  通気だけでなく、防火の役割もあります。
  使用の有無は、火災保険料の金額設定に関わる

ことがありますので
検討時に一度保険会社へ問い合わせしてみて下さい。

- 全面有孔板・・・全面に穴が空いているタイプ。
準耐火構造の住宅には使用できません。